

川越市立博物館
第五十三回企画展

旅ゆけど

旅する川越人

令和八年

七月二十五日(土)▼十月四日(日)

休館日

毎週月曜日(九月二十一日は開館)、八月二十八日(金)、九月二十四日(木)・二十五日(金)

開館時間

午前九時～午後五時 (入館は午後四時三十分まで)

入館料

一般 二百円(百六十円)、大学生・高校生 百円(八十円)、中学生以下 無料 ※()は二十名以上の団体料金

お問合せ先

川越市立博物館 埼玉県川越市郭町二丁目三十番地一 電話〇四九・二二二・五三九九

画像「諸国温泉鑑」[部分] (川越市立博物館寄託)





旅を探しに、特別展示室一周 40m の旅に出よう。

「旅」は、しばしば人生に例えられるように、苦難や喜び、気づきや変化を伴い、私たちを未知の環境・世界へと誘います。それ故、旅に人生を投じる人もいれば、終わりのない日常へ活力を与えるために非日常の旅に出る人もいます。

それは川越に住んだ人々も例外ではありません。江戸時代になると、泰平の世を背景に、交通網も整備され、大名から庶民まで旅が身近な存在になり、様々な脈絡から人は旅をしました。

公用のための移動、あるいは信仰を深めるための旅のみならず、物見遊山、はたまた廻国修行まで。人々が往来し、物が行き来し、そして情報が拡散される——高速化する現在の情報社会の祖型を江戸時代に見て取ることができます。

本展覧会では、旅する川越人に焦点を合わせ、城下町川越と旅の文化史を考えます。

主な展示資料

- ・榎本弥左衛門覚書（埼玉県指定文化財・川越市立博物館寄託）
- ・御社参供奉之留（埼玉県指定文化財・川越市立博物館寄託）
- ・大山講神酒杓（川越市指定文化財・川越市立博物館蔵）
- ・松平周防守家家臣道中道具（川越市立博物館蔵）



大山講神酒杓（川越市立博物館蔵）

関連事業

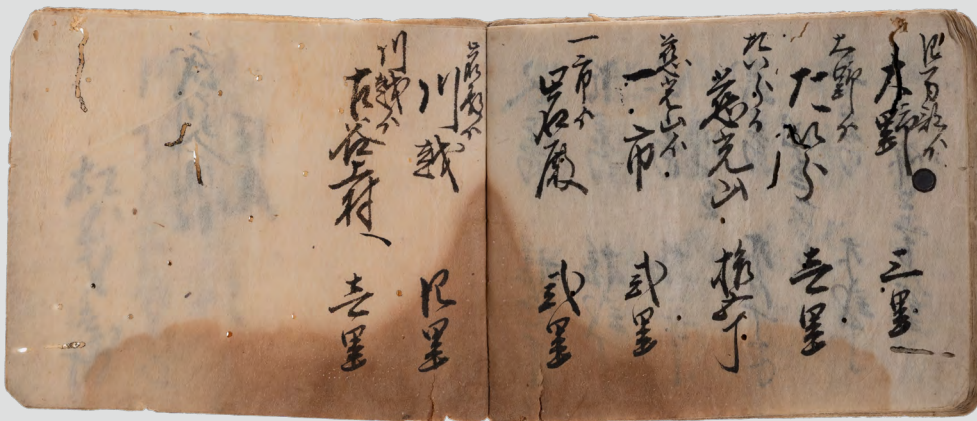
- 8月29日（土）午後1時30分～午後3時
講演会「スポーツ史からみる江戸時代の旅」
谷釜 尋徳 氏（日本体育大学教授）
- 9月13日（日）午前10時30分～正午
講演会「江戸時代後期の廻国修行と他流試合」
森本 邦生 氏（日本武道学会中四国支部会理事）

先着 80 人（高校生以上）

7月15日（水）～8月4日（火）まで
電子申請及び往復はがき（必着）にて受付



槍術防具（川越市立博物館蔵）



『伊勢道中記』より「大野（ときがわ町）から古谷上村への帰途部分」（川越市立博物館寄託）



●東武東上線・JR川越線「川越駅」または西武新宿線「本川越駅」から
東武バス（蔵のまち経由）「札ノ辻」下車徒歩10分
東武バス「川越運動公園／埼玉医大／上尾駅西口」ゆき「川越市役所前」下車徒歩5分